

- 問1 中央高地の気候的特徴である「夏でも涼しく、冬の寒さが厳しい内陸部」という条件を活かした長野県などの農業の取り組みとして、適切なものはどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|---|
| 1. 冬の温暖な気候を活かして、他の地域よりも早く出荷する促成栽培が盛んに行われている。 | 2. 冬の積雪を水源として利用し、広大な平野で大規模な稲作が行われている。 | 3. 年間を通じて降水量が少なく日照時間が長いので、山の斜面を利用してミカンなどの果樹栽培が行われている。 | 4. 夏でも涼しい高原の気候を利用して、レタスやキャベツなどの野菜を夏から秋に出荷する抑制栽培が行われている。 |
|--|---------------------------------------|---|---|
- 問2 飛騨・木曽・赤石の3つの山脈は、日本列島の中央部に位置し、標高3000メートルを超える高峰が密集していることから、ある別名で呼ばれることがあります。その名称として適切なものを選びなさい。 (2023年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|-------------|----------|
| 1. 日本の背骨 | 2. 日本の屋根 | 3. 日本の中央分水嶺 | 4. 日本の防壁 |
|----------|----------|-------------|----------|
- 問3 太平洋側の地点から日本海側の地点まで、中部地方を横断するように直線を引いた際の標高の変化を説明した文章として、正しいものはどれですか。資料としての地形断面図の特徴を踏まえて答えなさい。 (2023年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 内陸部に広大な平野が広がっているため、標高は一時的に上昇するものの、断面図の半分以上の区間で標高が二百メートル以下に保たれる。 | 2. 海岸線付近の海拔ゼロメートル地帯から内陸に向かって標高が急激に上昇し、赤石山脈など一千メートルを超える険しい山地を通過した後、再び日本海側へ向かって下降する。 | 3. 太平洋側の海岸部から内陸の県境付近まで標高が一定の割合で上がり続け、日本海側の海岸線に到達した地点で最も標高が高くなる。 | 4. 太平洋側から日本海側まで大規模な盆地や平坦な扇状地が連続しているため、断面図の大部分において標高の変化がほとんど見られない。 |
|--|--|---|---|
- 問4 北陸地方の気候と産業の特色について述べた文として、正しいものを次のうちから選びなさい。 (2017年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 一年中降水量が少なく乾燥しているため、伝統的にため池を活用した綿花栽培が盛んに行われた。 | 2. 季節風の影響を避けるために、石垣や防風林で囲まれた家々での精密機械工業が発達した。 | 3. 冬は乾燥して晴天の日が多いため、広大な土地を利用した太陽光発電が主な産業となっている。 | 4. 冬の降水量が非常に多く積雪が見られるため、農閑期の副業として伝統的工芸品の製造が発達した。 |
|---|--|--|--|
- 問5 三重県四日市市には、原油を原料としてプラスチックや合成ゴムなどの原材料を生産する工場群が形成されています。このように、関連する複数の工場がパイプラインなどで結ばれ、効率的に生産を行う仕組みを何と呼びますか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------------|---------------|-------------|
| 1. 工業団地 | 2. ファインセラミックス工場 | 3. 石油化学コンビナート | 4. 鉄鋼コンビナート |
|---------|-----------------|---------------|-------------|
- 問6 人口密度が1平方キロメートルあたり約4600人と非常に高く、人口が増加傾向にある愛知県のような都市部では、昼夜間人口比率が100%を超えています。このような現象が起こる主な理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 観光資源が豊富であり、宿泊を伴わない日帰り観光客が夜間もそのまま滞在し続ける仕組みがあるため | 2. 大規模な集合住宅の建設が周辺部で進んだ結果、夜間に居住する人口が昼間の人口を上回ったため | 3. 周辺の地域から通勤や通学のために流入する人口が、その地域から流出する人口を上回っているため | 4. 出生率が死亡率を大きく上回り、自然増によって年少人口の割合が周辺地域よりも高くなっているため |
|---|---|--|---|
- 問7 愛知県瀬戸市は陶磁器の産地であるとともに、交通の利便性を活かして他地域とも結びついています。愛知県の中核都市である名古屋市の東側に位置し、群馬県太田市などの北関東方面へ至る高速道路網も整備されているこの地域の地理的特徴として適切なものはどれですか。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1. 県庁所在地から遠く離れた山岳地帯にあり、主に林業と工芸品生産を行っている | 2. 知多半島の先端に位置し、漁業と観光業を主な産業としている | 3. 内陸部に位置し、良質な粘土資源と高速道路を活用した輸送網を併せ持っている | 4. 大規模な貿易港を持つ沿岸部の工業地帯で、重化学工業が中心となっている |
|---|---------------------------------|---|---------------------------------------|
- 問8 新潟県は本州の日本海側に位置し、その形状は北東から南西にかけて細長く伸びています。そのため、隣接する県の範囲も広く、複数の地方にわたっています。新潟県が陸上で直接境界を接している県の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 1. 山形県・宮城県・群馬県・長野県・石川県 | 2. 山形県・福島県・埼玉県・岐阜県・富山県 | 3. 山形県・福島県・群馬県・長野県・富山県 | 4. 秋田県・福島県・栃木県・長野県・富山県 |
|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
- 問9 愛知県を中心とする中京工業地帯の統計において、工業出荷額の54.2%という過半数の割合を占めている、この地域を象徴する製造分野の名称として適切なものはどれですか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 電気機械 | 2. 輸送用機械 | 3. 金属工業 | 4. 化学工業 |
|---------|----------|---------|---------|
- 問10 日本の主要な空港間の航空路線網に関する統計において、東京国際空港、那覇空港、新千歳空港、福岡空港の4箇所すべてとの間に、年間旅客数が105万人を超える大規模な路線を有している愛知県の空港について、その特徴を述べた文として正しいものを次の中から選びなさい。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|---|---------------------------------------|
| 1. 人工島に建設され、中部地方と国内外の主要都市を結ぶ拠点となっている。 | 2. 内陸部に位置し、主に東京都心部へのビジネス利用を目的とした路線に特化している。 | 3. 国際貨物の取り扱いが中心であり、国内主要都市との旅客路線は限定的である。 | 4. 大阪府に位置し、関西圏の国内線ネットワークの中心として機能している。 |
|---------------------------------------|--|---|---------------------------------------|
- 問11 中部地方の内陸部に位置する中央高地の気候について、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 冬の1月の平均気温が氷点下まで下がり、年間の降水量は少ないが冬に比べて夏に雨が多くなる。 | 2. 夏は太平洋からの湿った風の影響で雨が多く、冬は乾燥した晴天の日が多くなる。 | 3. 1年を通じて温暖で降水量が少なく、特に冬でも平均気温が5度を下回することはほとんどない。 | 4. 冬は季節風の影響で雪が多く降るため、1年の中で冬の降水量が最も多くなる。 |
|---|--|---|---|
- 問12 中部地方に位置する長野県の農業について、2016年の農業産出額の品目別割合を示した資料に基づいた説明として、最も適切なものはどれですか。なお、この資料では群馬県、富山県、愛媛県と比較して長野県の特徴が示されています。 (2019年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|---|-----------------------------------|
| 1. 野菜の占める割合が非常に高く、次いで果実の割合も他県に比べて大きい。 | 2. 米の産出額が全体の半分以上を占めており、野菜の割合は極めて低い。 | 3. 畜産の産出額が最も大きな割合を占め、野菜の栽培はほとんど行われていない。 | 4. 麦類や豆類の産出額が中心であり、果実の割合は他県よりも低い。 |
|---------------------------------------|-------------------------------------|---|-----------------------------------|